



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月12日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾家 啓二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 尾家 健太郎 TEL 06-6375-0158
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	75,140	△1.7	586	4.4	652	△0.3	544	33.7
2019年3月期第3四半期	76,420	4.8	561	△6.7	654	0.2	407	△7.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	60.13	—
2019年3月期第3四半期	44.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	36,858	13,253	36.0	1,464.76
2019年3月期	32,522	12,881	39.6	1,423.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,253百万円 2019年3月期 12,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,500	1.4	1,015	36.3	1,075	26.7	660	25.1	72.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	9,255,000株	2019年3月期	9,255,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	206,765株	2019年3月期	206,739株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	9,048,256株	2019年3月期3Q	9,048,447株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかに回復しているものの、通商問題をめぐる緊張が増大するなどの不確実な経済情勢により、設備投資や輸出が低迷し、力強さを欠く展開となりました。また、夏場の天候不順、業態の垣根を超えた競争の激化に加え、最低賃金の引き上げによる人件費の増加、物流コストや原材料価格の引き上げによる各種値上げ、更には2019年10月に実施された消費税増税による消費の落ち込みが懸念されるなど、景気の先行きは依然、不透明な状況が続いております。

当社の主要取引先であります外食産業全体の売上は、天候不順の影響が大きかった7月と、消費税増税の影響を受けた10月を除いて前年を上回りましたが、暖冬による季節商材の販売不振や、進行する忘年・新年会離れなどの影響を警戒する必要があります。また、外食業界の重要なターゲットである訪日外国人観光客は、ラグビーワールドカップ開催の効果等により2019年通年で前年比2.2%増の3,188万人と、過去最多を7年連続で更新しました。国内での消費額も6.5%増と依然活発で、同じく7年連続で最多となり、中でも飲食費は前年比6.2%増の1兆389億円と、大きな経済効果が現れました。

このような経済環境の下、当社は長期的目標であります「いい会社をつくろう」を目指し、2019年4月より、第四次3ヶ年中期経営計画「Change to the Next 新時代に向けて変革していこう」を実行しております。初年度の当期は、基本方針として「選択と集中」「収益力の強化」「人財の育成」を掲げ、全社を挙げて計画達成に向けて取り組んでおります。

営業政策としましては、重点業態として取り組んでいるヘルスケアフード事業、宿泊施設、中食、そして重点商品として優先的に営業を行っている自社PB商品と非食品については、期初に取引先の見直しを敢行したヘルスケアフード事業を除き、いずれも前年を上回る実績で推移しております。また、2019年8月から9月にかけて、全国14会場で開催した秋季提案会に来場された6,590名のお客様のフォローを強化し、12月末までで前年同期を上回る約7.3億円の新たな売上に繋げる事ができました。更に、2019年12月1日から2020年1月末まで開催した第13回大感謝セールでは、各仕入先の協力を得て、お客様に5%の還元を実施しました。以上の取り組みは、新たなユーザーとの取引に向けた施策としても効果があり、2019年4月以降、440社を超える新規ユーザーとの取引に繋がりました。

拠点政策としましては、2019年12月末現在では、全国46事業所(11支店、33営業所、サンプラザ2店(業務用食品スーパー))と前期末と同数であります。高騰する物流関連費用を抑制すべく、特に庫内管理と配送に関わる業務の見直しを進めており、経済的な事業所間共同仕入や事業所間物流網の構築及び業務外部化比率の最適化に着手しております。

物流政策としましては、42事業所に導入が完了した「ボイスシステム(音声による入出庫作業と在庫管理)」により、作業効率の改善を進めていくと共に、食の安心・安全の重要な要素である賞味期限管理の精度向上を図っております。また、食品取扱の一般衛生管理、配送上の物流衛生管理、業務運用上のルールを定め、外食版HACCPへの対応準備を進めております。安全運転の実現に向けては、営業用自社車両全台に導入済みの「無事故プログラムDR(DRIVE RECORDER)」を、AIを活用した危険・違反検知機能搭載機種にアップグレードし、無事故無違反への取り組みを強化しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高751億40百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益5億86百万円(前年同期比4.4%増)、経常利益6億52百万円(前年同期比0.3%減)、四半期純利益は5億44百万円(前年同期比33.7%増)と減収増益となりました。

なお、当社は食品卸売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、368億58百万円となり、前事業年度末と比較して43億36百万円増加となりました。

主な要因は、現金及び預金が20億66百万円、受取手形及び売掛金が15億4百万円、商品が12億93百万円、建設仮勘定が5億22百万円増加したものの、未収入金が4億1百万円、建物が1億81百万円、建物附属設備が1億91百万円、土地が2億50百万円減少したことによりです。

(負債)

負債は236億5百万円となり、前事業年度末と比較して39億63百万円増加となりました。

主な要因は、買掛金が29億57百万円、1年内返済予定の長期借入金が3億36百万円、未払金が1億98百万円、未払法人税等が2億2百万円、長期借入金が1億89百万円増加したものの、賞与引当金が1億30百万円減少したことによりです。

(純資産)

純資産は132億53百万円となり、前事業年度末と比較して3億72百万円増加となりました。

主な要因は、繰越利益剰余金が3億63百万円増加したことによりです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,118	3,334,084
受取手形及び売掛金	12,947,724	14,452,415
商品	2,847,509	4,141,163
未収入金	1,582,418	1,181,091
その他	40,894	116,782
貸倒引当金	△31,034	△34,690
流動資産合計	18,654,630	23,190,846
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,663,931	3,489,274
減価償却累計額及び減損損失累計額	△652,670	△659,782
建物（純額）	3,011,260	2,829,491
建物附属設備	5,057,984	5,124,272
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,068,508	△2,326,795
建物附属設備（純額）	2,989,476	2,797,476
構築物	248,899	241,738
減価償却累計額及び減損損失累計額	△100,361	△111,314
構築物（純額）	148,538	130,424
機械及び装置	336,849	345,489
減価償却累計額及び減損損失累計額	△156,718	△179,762
機械及び装置（純額）	180,130	165,727
車両運搬具	3,786	3,786
減価償却累計額	△3,049	△3,270
車両運搬具（純額）	737	516
工具、器具及び備品	511,078	548,433
減価償却累計額及び減損損失累計額	△314,202	△351,548
工具、器具及び備品（純額）	196,876	196,885
土地	2,361,011	2,110,131
建設仮勘定	14,040	536,850
有形固定資産合計	8,902,071	8,767,503
無形固定資産		
ソフトウェア	130,811	128,125
ソフトウェア仮勘定	—	8,884
電話加入権	26,614	26,614
無形固定資産合計	157,425	163,623
投資その他の資産		
投資有価証券	1,434,656	1,449,225
差入保証金	2,553,773	2,484,803
会員権	29,600	12,558
保険積立金	30,960	30,960
破産更生債権等	52,652	53,357
繰延税金資産	485,890	472,783
投資不動産	507,783	507,783
減価償却累計額	△221,531	△224,785
投資不動産（純額）	286,251	282,998
その他	10,540	8,291
貸倒引当金	△75,888	△58,290
投資その他の資産合計	4,808,437	4,736,688
固定資産合計	13,867,934	13,667,815
資産合計	32,522,565	36,858,662

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,453,271	17,410,617
1年内返済予定の長期借入金	372,000	708,000
リース債務	56,868	61,755
未払金	72,010	270,573
未払費用	1,409,293	1,428,605
未払法人税等	—	202,140
賞与引当金	280,000	150,000
その他	22,620	112,974
流動負債合計	16,666,065	20,344,666
固定負債		
長期借入金	525,000	714,000
リース債務	102,971	110,800
退職給付引当金	1,436,702	1,496,167
役員退職慰労引当金	249,888	249,138
資産除去債務	602,730	631,738
その他	58,024	58,624
固定負債合計	2,975,315	3,260,468
負債合計	19,641,381	23,605,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金		
資本準備金	1,233,690	1,233,690
資本剰余金合計	1,233,690	1,233,690
利益剰余金		
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金		
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	5,102,079	5,465,220
利益剰余金合計	9,856,210	10,219,351
自己株式	△171,717	△171,755
株主資本合計	12,223,882	12,586,986
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	657,301	666,541
評価・換算差額等合計	657,301	666,541
純資産合計	12,881,184	13,253,527
負債純資産合計	32,522,565	36,858,662

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	76,420,211	75,140,307
売上原価		
商品期首たな卸高	2,833,587	2,847,509
当期商品仕入高	65,830,778	64,167,797
合計	68,664,366	67,015,306
商品期末たな卸高	4,182,760	4,141,163
商品売上原価	64,481,606	62,874,143
売上総利益	11,938,605	12,266,164
販売費及び一般管理費	11,377,000	11,679,970
営業利益	561,605	586,193
営業外収益		
受取利息	2,439	1,751
受取配当金	12,385	13,286
貸倒引当金戻入額	—	9,062
受取賃貸料	65,007	90,958
雑収入	33,631	22,629
営業外収益合計	113,463	137,687
営業外費用		
支払利息	1,901	2,617
賃貸費用	18,850	65,126
雑損失	257	4,033
営業外費用合計	21,009	71,777
経常利益	654,059	652,104
特別利益		
固定資産売却益	—	187,595
特別利益合計	—	187,595
税引前四半期純利益	654,059	839,700
法人税、住民税及び事業税	54,867	286,443
法人税等調整額	192,078	9,149
法人税等合計	246,946	295,593
四半期純利益	407,112	544,106

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。